

## 学会ニュースNo.118 トピックス

- ・第39回秋季例会・第45回講演会・第114回臨地研究会のご案内(第3報)
- ・2016年度第113回臨地研究会のご案内
- ・2016年度立正地理学会評議員会報告
- ・2016年度立正地理学会研究委員会について
- ・会費納入のお願い
- ・第46回講演会のご案内
- ・2016年度(第71回)立正地理学会総会報告
- ・第71回立正地理学会研究発表大会報告

## 会告

### ○第39回秋季例会・第45回講演会・第114回臨地研究会のご案内(第3報)

以下の日程で第39回立正地理学会秋季例会、第45回講演会、第114回臨地研究会を開催いたします。多くの会員の皆さまの参加をお待ちしております。

### 第39回秋季例会(鹿児島)・第45回講演会のご案内

1.日時:2016年11月26日(土)13:00~16:30 ※会場の受付開始は12:30から

2.会場:鹿児島大学郡元キャンパス 鹿児島市郡元1丁目21番24号

教育学部第2講義棟(アクティブラーニングプラザ)3階 講義室B

3.プログラム:

13:00~13:05 開始・あいさつ

13:05~14:45 <口頭発表>

※口頭発表は交代の時間を含めて20分(発表15分、質疑応答4分) \*は発表者

A1 13:05~13:25 元木理寿(常磐大):鹿児島県における焼酎の原料供給体系の変化と地理的表示

A2 13:25~13:45 郷原裕生(立正大・院):20世紀前半の西日本における路面電車の普及過程と都市地域形成

A3 13:45~14:05 岡田 登(鹿児島県立短大):指宿市における農業法人設立の地域的条件

A4 14:05~14:25 高山正教\*(鹿児島大・院)・深瀬浩三(鹿児島大):鹿児島県奄美群島における農業 地域の存続システム(仮)

A5 14:25~14:45 永田聖史\*(鹿児島大・院)・深瀬浩三(鹿児島大):南九州南東部における木材の生産・加工・流通システム(仮)

14:45~14:55 休憩

14:55~15:40 <第45回講演会I>

講演者:森脇 広氏(鹿児島大学名誉教授)

演題:「地理学概説—大地系を考える—」

15:40~16:25 <第45回講演会II>

講演者:大岩根 尚氏(三島村役場総務課地球科学研究専門職員)

演題:「三島村・鬼界カルデラジオパークの取り組み」

16:25~16:30 案内・終了

## 懇親会のご案内

1.日時:2016年11月26日(土)18:30~20:30

2.会場:さつま酒飯店 和総

鹿児島市東千石町 7-17 ニイムラビル 1F 電話 099-295-6655

3.会費:一般会員 5,000 円、学生会員 3,000 円

※懇親会に参加を希望される方は、●頁の「※懇親会・第 114 回臨地研究会の申込み」に従い、必ず集会委員会までお申し込みください。宿泊は各自で手配をお願いいたします。

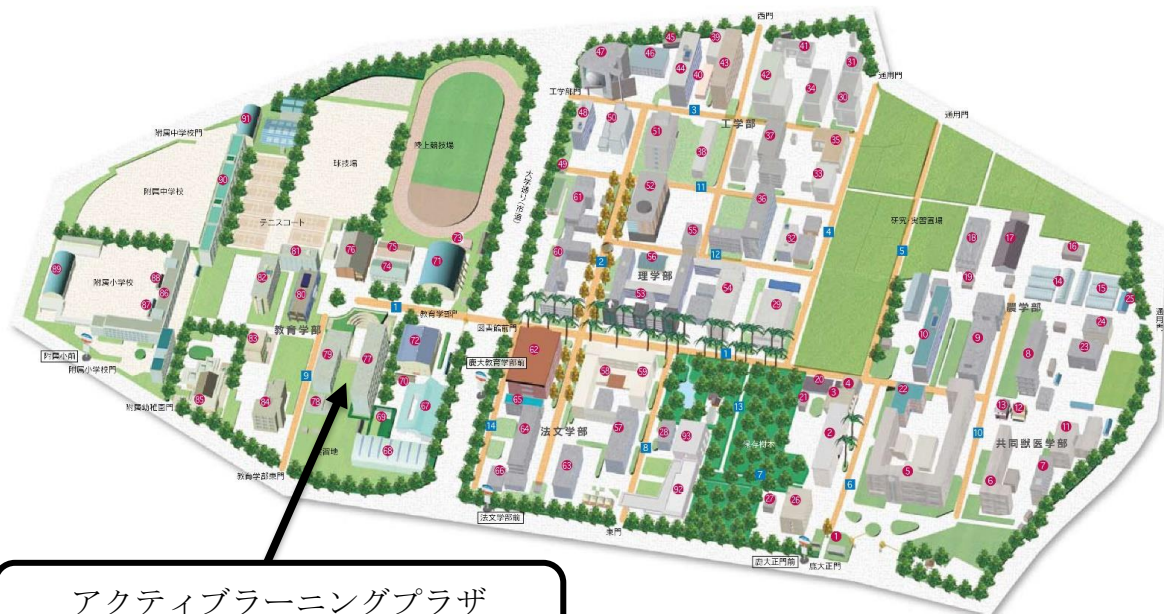
### 《秋季例会会場へのアクセス》

鹿児島大学郡元キャンパスへのアクセス

○公共交通機関をご利用ください。自家用車の駐車場はありません。

市電	[市電 2 系統](郡元行き)「唐湊(とそ)」、「工学部前」電停下車
市営バス (鹿児島中央駅経由)	9 番線(武岡・鴨池港線)、11 番線(鴨池・冷水線)、18 番線(大学病院線)、20 番線(緑ヶ丘・鴨池港線)「鹿大正門前」または「法文学部前」下車
鹿児島交通バス (鹿児島中央駅経由)	19 番線「鹿大正門前」または「法文学部前」下車
南国交通バス (鹿児島中央駅経由)	30 番線「鹿大教育学部前」下車

(鹿児島大学 HP <https://www.kagoshima-u.ac.jp/about/access.html> より引用)



アクティブラーニングプラザ  
3階 講義室 B

郡元キャンスマップ(会場の案内)

(鹿児島大学 HP <https://www.kagoshima-u.ac.jp/about/campusmap.html> より引用)

## ○2016 年度第 113 回臨地研究会のご案内

1. 日時:2016 年 10 月 30 日(日)9 時 30 分～16 時 00 分
2. 集合場所・時間:東京メトロ有楽町線江戸川橋改札口前 9 時 30 分集合
3. テーマ:東京の台地と低地
4. 案内者:戸田真夏、島津 弘、青木訓穂
5. 参加費:500 円(資料代・保険代)
6. コース:江戸川橋-山吹町-旧金川-地藏通り商店街-赤城神社-神楽坂-市ヶ谷加賀町-市ヶ谷-市谷船河原町-飯田橋  
※途中どこかで 40 分ぐらい昼食休憩。
7. 解散場所・時間:JR 飯田橋駅 16 時 00 分頃を予定
8. 募集定員:30 名(先着順)

### ○臨地研究会の申込み

参加を希望する会員は、参加者氏名、住所、電話番号、メールアドレス、生年月日、性別、所属を明記し、メールにて下記まで申し込んで下さい。なお、頂いた個人情報には主催者からの連絡および保険加入のために利用させていただきます。締め切りは 10 月 7 日必着とします。送り先のメールアドレスは次の通りです。

戸田真夏宛 メールアドレス:todaclass@yahoo.co.jp

### ○災害等により開催が困難な場合の対応

地震や台風またはその他のやむを得ない理由によって臨地研究会の開催が困難な場合は、案内者からの連絡によってお知らせください。

## ○第 46 回講演会のご案内

以下の日程で第 46 回講演会を開催いたします。多くの会員の皆さまの参加をお待ちしております。

- 1.日時:12 月 6 日(火)12 時 50 分～14 時 20 分
- 2.会場:立正大学熊谷キャンパス内(当日学内に掲示します。)
- 3.講演者:小宮山 博氏(名古屋大学大学院環境学研究科 客員教授)
- 4.演題:モンゴルの自然環境と農牧業—国際協力の視点から—
- 5.参加申込:不要(満席により着席できない場合もございます。あらかじめご了承ください。)

## ○2016 年度立正地理学会評議員会報告

2016年6月3日(金)18時より、立正大学熊谷校舎アカデミックキューブ6階会議室において、出席者13名、委任状提出者12名、計25名にて開催された。議事では、2015年度事業報告が島津常任委員長よりなされた。次に、2015年度決算報告が大石庶務会計委員よりなされ、いずれの事項も承認された。引き続き、2016年度事業計画案・予算案が提出され、いずれの事項も承認された。さらに、2016・17年度役員案ならびに2016年度委員案が提出され、いずれも承認された。

## ○2016 年度(第71回)立正地理学会総会報告

2016年6月4日(土)11時より立正大学熊谷校舎アカデミックキューブA203教室において、出席者47名、委任状提出者309名、計356名にて開催された。正議長に君川静夫会員、副議長に武江翔太会員を選出し、議事に入った。議事では、2015年度事業報告、決算報告、会計監査報告があった。審議後、いずれの事項も承認された。引き続き、2016年度事業計画案・予算案、2016・17年度役員案、2016年度委員案が提出された。会員から質疑があり、審議後、いずれの事項も承認された。また、研究委員会の承認に関する報告があった。

## ○2016 年度立正地理学会研究委員会について

2016年度発足の研究委員会として1件の応募があり、次の1件が認められました。

委員会名:「農業の六次産業化に関する地理学的研究」委員会

代表者:石原 肇会員

研究期間:平成28~29年度

研究テーマ:農業の六次産業化に関する地理学的研究

研究目的:近年の情勢から、農業の六次産業化は喫緊の課題となっている。六次産業化についての地理学研究はまだ緒についたばかりであることから、日本の各地域で進められている六次産業化の地域研究を進めることで、六次産業化の成立要因を明らかにすることを目的とする。もって、地理学研究による地域振興に資する。

助成額:100,000円(平成28年度)

なお、委員会の追加募集の期間は終了しています。

(常任委員長 島津弘)

## ○第 71 回立正地理学会研究発表大会報告

### 1. 2016 年度 研究発表大会の概要

日時:2016 年 6 月 4 日(土) 10:00 より

会場:立正大学熊谷校舎アカデミックキューブ 2 階

大会参加人数:約 70 人



写真1 ポスター発表(松澤希望会員撮影)



写真2 口頭発表(飯山和也会員撮影)

### 2. 2016 年度発表大会取材レポート

研究発表に関する広報委員の取材レポートです。

#### <口頭発表>

##### 松尾忠直会員(立正大):企業による農業—モヤシの持続的生産—

この研究では、自然的要因からの影響をほとんど受けることがなく、技術革新によって、生産工程のほとんどを工業化している企業によるモヤシの栽培について、どのように産地形成がされるのかを明らかにすることを目的とし、早期から工業化が進んだ経緯と、現在の生産シェアなどを明らかにするための調査や分析がなされていました。現在、栃木県はモヤシの生産が比較的多いことが明らかにされていました。これは栃木県が大消費地である首都圏に近郊であることと、大量に水を得ることができる条件を満たしているためだと考えられると報告されました。また、モヤシを生産する企業について、モヤシの単価の下落と、原料である豆の価格上昇により、同一生産物を製造している企業との競争が激化しており、新規参入する企業はなく、既存の企業の数が減っていると指摘がされていました。

(広報委員 飯山和也)

##### 小室信幸会員(立正大・非)・船生泰寛会員(立正大・院)・河野忠会員(立正大):神津島における湧水の水質分析結果

神津島は、伊豆諸島の中でも水配りの伝説があるほど水が豊富で、水道水源に地下水を使用し、湧水が多い島です。本研究は、神津島における調査データの蓄積と公表、水資源保護に係る基礎データの蓄積を目的に実施されました。

神津島における主な陸水の調査・研究は 1962 年からされており、1990 年代は水資源の量確保を目的とされていました。最近では、水質に関する調査・研究を整理する研究が多いそうです。

調査は 2016 年 1 月 2 月の水が少ない時期に行い、神津島 10 地点の pH、水温、電気

伝導度、主要イオンを分析しました。結果として、天上山山頂の不動池が他と比べ pH4.7 と低い数値であること、トリリニアダイアグラム上では 3 つのグループに分けられること、湧水の水質は Na-Cl 型であり、原因として海塩が考えられるが Na に着目すると地質からの供給も示唆されました。非海塩性の Na と重炭酸の関係は天上山水系とそれ以外の水系に区別されました。さらに、SiO<sub>2</sub> 濃度と重炭酸濃度との間には正の相関が見られました。

この発表から、私は島という一つの地域で、多くの人達により段階的に調査・研究が進められていることに興味を持ちました。離島における調査データの蓄積は水に乏しい離島の水資源確保にも応用できるのではないかと思いました。

(広報委員 松澤希望)

### 〈ポスター発表〉

#### 郷原裕生会員(立正大): 明治期から昭和戦前期の高地周縁地域における路面電車導入に伴う市街地化過程

この発表では、路面電車導入に伴う都市形成の実態を解明することを目的としていました。高知県高知市、旭地区、棧橋地区を事例に、都市地域形成の実態について、土地所有や土地利用といった観点の研究をまとめたものです。土地の所有者の変遷・地目・分筆などから土地一筆ごとに把握するという調査を行いました。それらの結果、路面電車開通後、軌道に近いほど土地買収が盛んであることや、対象地域における都市化は中心部からだけでなく、郊外の農村からの影響もあったことが明らかにされていました。今後はこれらの研究をもとに、現代社会の諸問題について提言したいと発表されました。

(広報委員 飯山和也)

#### 高杉陽名会員・高田基継会員・沼澤祐太会員(立正大・学): 群馬県中之条町野尻湖周辺における地表面の差異による気象変化

本発表では気象の変化には様々な要因が考えられることを前提とし、類似した環境であっても地表面状態によって気象状況に違いがあることを明らかにし、気象と地表面状態の関係についての考察がされていました。湿度の時間変化や地点ごとの差異、風向き風速という点については地表面状態の違いは確認できなかったと報告されていました。一方湿り気のある地表面と乾いている地表面では、地表面温度上昇幅に差がありました。また、日射を妨げるものの有無が地温に影響していると明らかにしていました。今回の調査では観測地点の斜面の向きや被覆率について調査していないため、今後の課題とするそうです。

(広報委員 松澤希望)

### 〈地理写真〉

#### 武江翔太会員・高橋宏光会員(立正大・卒)・郷原裕生会員(立正大・院): アメリカ合衆国・旧道 Route66 沿線都市における人文景観

本発表ではアメリカ合衆国カリフォルニア州ロサンゼルスを中心に、かつてロサンゼルスとシカゴを結ぶ主要道路であった旧道 Route66 沿いを対象に、人文景観を行ったものです。かつてはアメリカのメインストリートとして栄えていた旧道 Route66 は、州間高速道路の発達により役目を終えましたが Route66 沿いには観光地化を進めている町もあり、かつての主要道路としてのブランドを掲げています。

私の感想として、日本においても旧道にブランドを見出し、現在も親しまれている例があり、国は違えども、同じような感性での旧道活用が起きているのではないかと思いました。

(広報委員 松澤希望)

## 〈学生インタビュー〉

地理学科 2年 園田航星さん

今回立正地理学会に参加して、一番興味を持った発表は、原先生の「スイス ベルンの噴水」と「スイス チューリヒの噴水」です。これらの発表では、ベルンとチューリヒの噴水の写真やどのような場所に分布しているのか、またその水の特徴について明らかにされました。この発表からは、今年度の海外フィールドワークでスイスに行く際に、現地の様子を知ることができる貴重な情報を得ることができました。今回学んだことを生かし、現地で調査を行うときに参考にしたいと思います。

地理学科 1年 大澤武士さん

今回初めて学会に参加しました。中でも松尾忠直先生の「企業による農業—モヤシの持続的生産」についての発表が印象に残っています。自身が農業について興味があるため地理的側面から農業も学ぶことは重要であると思いました。学会に参加し、地理学科という枠組みが広くオールマイティな学問分野であると思いました。また、学生が参加できる場でもあり、且つ威厳を感じました。

地理学科 2年 高橋零士さん

今回の発表の中でとくに「白根山周辺における河川の水質—湯川、長笹沢川、白砂川を事例として—」についての発表に興味を持ちました。酸性河川が合流する河川は酸性河川に石灰が投入されている影響について知ることが出来ました。地理学会に参加することで様々なジャンルの地理についての発表、説明の仕方を学ぶことができました。

地理学科 2年 秀島直輝さん

今回興味をもったのは高安純さん、中村俊一郎さん、櫻沢雅哉さん、中島拓也さんによる「白根山周辺における河川の水質—湯川、長笹沢川、白砂川を事例として—」のポスターです。一般河川と温泉水が流入している酸性河川の河川水質と流速・流量の比較について紹介されていました。フィールドワークでこの地域周辺に行くため参考にしたいと思います。また、学会は学生でも多くのことを学ぶことができ、今後の授業に生かしていくことができる貴重な場でした。

(広報委員 松澤希望・飯山和也)

## ○会費納入のお願い

2016 年度分の会費が未納の方には、今回の学会ニュースに「会費納入状況のお知らせ」と「払込取扱票」を同封しておりますので、ご納入下さい。また、過年度分会費が未納の方は、過年度分もあわせてご納入願います。会費および郵便振替口座の番号・加入者名は下記の通りです。

一般会員 4,000 円 学生会員 2,500 円  
00130-8-13453 立正地理学会

なお、他の金融機関からお振込みされる際にご指定頂く口座は、以下の通りです。お振込みの際は、振込人氏名が会員ご本人の氏名となっておりますことをご確認頂きますよう、お願い申し上げます。

銀行名	ゆうちょ銀行
金融機関コード	9900
店番	019
店名(カナ)	〇一九店(ゼロイチキュウ店)
預金種目	当座
口座番号	0013453
カナ氏名(受取人名)	リッショウチリガクカイ

※学会ニュースや地域研究などの送付先の変更が生じましたら、お早めに立正地理学会までご連絡下さい。また、住所変更のご連絡がなく、新住所のみご記入され、氏名のご記入のない場合には、どなたのお振込みか不明となります。ご入金の際は、払込取扱票の払込人住所氏名の欄に必ず住所と氏名をご記入頂きますよう、お願い致します。

(庶務会計委員会)

### 立正地理学会ニュース No.118

2016年9月16日発行 編集者 立正地理学会広報委員会  
発行者 立正地理学会 〒360-0194 熊谷市万吉1700 立正大学地理学教室内  
電話 048-539-1672 振替 00130-8-13453